

女夫石遺跡発掘調査速報

No.45

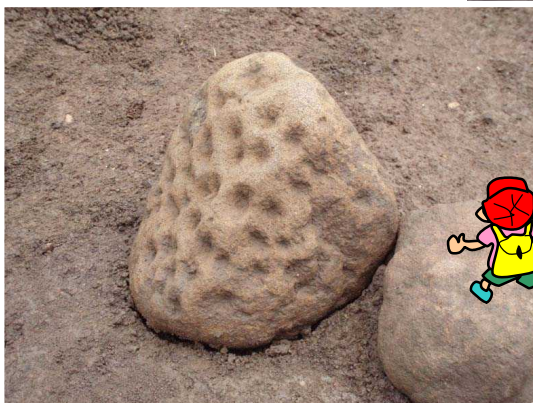
あの裂け目を持つ巨石の周りはやっぱり不思議な空間です。土偶、ミニチュア土器や土器片製円盤などなど不思議なものがたくさん発見されます。さらにはどうみても「捨てた」というよりは「置いた」と表現した方がいいような土器がでてきます。今回はそんな状況を紹介！土偶もいまだに出続けています。70個を超えました。調査を手伝っている皆さんも、もう感覚がマヒして、土偶が出て驚かなくなっちゃいました！10個近く掘り当てている人もいます。まだ0個の人も数人いるみたいだけど……。



これもゴミとして捨てたとは思えないですね！浅鉢（あさばち）を逆さまに伏せて置いたんでしょうね。じゃあ、何でそんなことをしたのかな？女夫石縄文人の行動はナゾだらけだね！



大きな甕の胴部から底部の部分だけを伏せてあるね。これも浅鉢と同じような状況だね。この状態で発掘されたのは今回2個だけだけど、偶然とは思えないような気がするね！どんな意味があるのかな？



女夫石遺跡からは穴がたくさんあいている蜂巢石（はちのすいし）が数多く発掘されています。特に、裂け目のある巨石の周辺には多いです。女夫石縄文人は何の目的でこんなにたくさんの穴をあけたのでしょうか？現代人には不可解なことが多いですね。



沢リ：広がった調査区でもまだまだたくさんの土器や石器がでてくるし、土偶もぞくぞくと出ているんだってさ。あれ？土器が逆さまになっているよ。まるで地面に伏せて置いたみたいだね。

マキ：胴部から上の部分はないよね、それにしても完全な形の土器かと思うくらい、きれいに胴部から上が欠けているね。壊れたというよりもわざとこの形に修正したっていう感じだね！

沢リ：そういえば、浅鉢が裏返って発見されていたよね。あれも、「捨てた」というよりも「置いた」という感じだったよね。

マキ：裏返して何をしたんだろうね？

沢リ：偶然？何の意味もなく逆さまにしてみたかっただけ？亡くなった人の頭に被（かぶ）せた？逆さまにして祭りをした？……一体なんだろうね？

マキ：二つとも土器や石器が大量に捨てられている地点から発掘されているから、偶然じゃないような気がするな。お墓といっても骨は確認できないしね……、難しいね！

沢リ：まーそれにしても、冬の現場は寒くて大変だね！

マキ：皆さん寒いのに、がんばっているね！（つづ）